

＜筑後エリア＞

***9月19日 秋の渡り鳥@花立山（小郡市） 野田(美)**

山神ダムの帰りに花立山に寄ってみました。

城山公園を抜けて行こうとしたら、堤の上をクロハラアジサシが2羽、飛び回っていました。18日からいるそうで（カワセミの写真を撮っていた方の話）、台風の影響でこんな内陸まで飛んで来たのでしょうか。堤全体をせわしなく飛び回り、時折、ホバリングからダイビングして、結構な確率で小魚を捕まえていました。

花立山の雑木林にはあまり人を恐れないキビタキの幼鳥がいました。ここではまだ、エゾビタキやコサメビタキは確認できません。オオタカの幼鳥が頭上を旋回しましたが、渡り途中の個体かもしれません。

山頂で1時間ほど観察しましたが、トビが1羽飛んだのみで、ハチクマやほかの猛禽は確認できませんでした。



▲クロハラアジサシ・城山公園 撮影：野田(美)



▲キビタキ・花立山 撮影：野田(美)



▲オオタカ・花立山 撮影：野田(美)

*** 9月23日 ハチクマの渡り観察@目配山（筑前町） 野田(美)**

山神ダムでハチクマの渡りを確認し、昔の「まめわり」に小郡市津古付近でハチクマの渡りが何度か報告されていたので、東方向延長線上の古処山に登ろうかと考えましたが、その手前の目配山（筑前町）に登ってきました。

午前中は曇りで風も強く、8時からの2時間で観察できたのは、ハチクマの雌成鳥1羽のみ（9:10頃）でした。

山頂はソウシチョウの鳴き声が賑やかで、ヤマガラやコゲラなどのほか、何故かハクセキレイが頭上を飛んでいきました。アオバト雄の小雨覆の栗茶色が印象的でした。



▲ハチクマ・目配山 撮影：野田(美)



▲ハチクマ・目配山 撮影：野田(美)



▲アオバト・目配山 撮影：野田(美)

*** 9月 23 日 城山公園のクロハラアジサシ 野田(美)**

お昼ごろ、花立山に行きました。

城山公園の堤にはクロハラアジサシがまだ居ましたが、なぜか1羽のみになっていました。せっかく捕まえた魚を空中で落としてしまい、慌てて捕まえ直したところが写真に撮れました。

花立山では12時10分ごろ、渡り途中のハチクマ雌成鳥を1羽確認しました。この個体はP6が伸長中で翼指が5本に見えます。

クロハラアジサシは26日には見当たりませんでした。



▲クロハラアジサシ・城山公園 撮影：野田(美)



▲ハチクマ・花立山 撮影：野田（美）

*** 9月 23日 筑後広域公園の野鳥 江口浩喜**

久しぶりに筑後広域公園に行ってきました。

観察した鳥は、キジバト、アオサギ、ダイサギ、コサギ、コゲラ、モズ、ハシボソガラス、シジュウカラ、ヤマガラ、ツバメ、ヒヨドリ、エナガ、ムクドリ、コサメビタキ、スズメ、キセキレイ、セグロセキレイ、カワラヒワ、ホオジロ

*** 9月 26日 柳川市大和町でアオバトを保護 江口浩喜**

有明海水鳥調査後、柳川市大和町に住む姉から、「見慣れないきれいな鳥がカラスに追われて、家のベランダの下にうずくまっている」と写真付きでラインがあり、何と「アオバトの♀」だったので、すぐに姉の家に行ってきました。しばらくじっとして動かなかったのですが、私が帰った後無事に飛んで行ったということでした。



▲アオバト・柳川市 撮影：江口

*** 9月 28日 コムクドリの飛来・筑後市 石橋(信)**

自宅 2 階の窓からコムクドリの群れ 30 羽以上が季節のあいさつに来てくれました。

すぐさま飛んでいった方向を探していると居ました、柿木もありましたが、私の知らない木の実がなっている木に止まって居ましたが、しばらくすると 200m ほど離れた柿木に飛んで行き又何処かへ飛び去りました。

柿の実が熟れるこの時期が秋の楽しみの一つです。

初認は 1 羽だけ 9 月 2 日に窓から見える電線に止まっていた。

一昨年は、塹が筑後市内でしたが、昨年は荒木町の方に飛んでいっていました、今年の塹は何処になるのか、どれ位の群れ膨れ上がるのか？楽しみです。



▲コムクドリの初認(9月2日) 撮影：石橋(信)



▲コムクドリ 撮影：石橋(信)



▲柿の木のコムクドリ 撮影：石橋(信)



▲コムクドリの群れ 撮影：石橋(信)

*10月1日 清水山でのタカ類の観察 江口浩喜

清水山は8月の豪雨災害で、竹屋より先は車が通行止めのため大観峰まで歩いて登りました。観察は8:20~13:00行いました。雲が多く、北からの風がやや強く吹いていました。

タカ類の観察記録は以下の通りです。

8:30 ハチクマ 1羽 東から西へ

10:30 タカ SP 2羽 お牧山のさらに東、遠くて種類特定できず。南へ

10:36 タカ SP 1羽 同様

10:39 タカ SP 3羽 同様

11:12 サシバ? 2羽 同様

11:50 ハチクマ 1羽 南からなぜか北へ

その他の鳥

- ・ヤマガラ、ムシクイ類、カワラヒワ、メジロ、ハシボソガラス、ホオジロ、アオゲラ（声）
- ヤマガラはエゴノキの実を盛んに運んでいました。



▲メボソムシクイ類*・清水山 撮影：石橋(信)

*注) メボソムシクイ類について (池長)

ムシクイ類はウグイスにも似ていて、どれも識別が難しいのですが、春の渡りシーズンや繁殖期であれば、その囀りで識別することができます。また羽衣に特徴のある種（例えば頭中央線があるとか腰が黄色いとか）の場合は形態的にも比較的簡単に識別できると思います。

メボソムシクイ類は、かつては1種で複数の亜種があると考えられてきましたが、近年のDNAを用いた研究により、さらに生態的な遺伝的隔離を総合的に判断されて現在ではメボソムシクイ、オオムシクイ、コムシクイの3種に分けられ、野外での識別は困難とされています。一枚の写真からの識別はほぼ不可能なようです。そのため3種をまとめて「メボソムシクイ上種」と呼ばれることもあります。

なお、形態による識別については、以下の文献を参照してください。

齋藤武馬・茂田良光・上田恵介（2014）メボソムシクイ上種3種の外部形質を用いた識別方法。鳥類標識誌 26: 45-61.

https://www.jstage.jst.go.jp/article/jbba/26/2/26_00060/_pdf/-char/ja



▲ハチクマ・清水山 撮影：石橋(信)

***10月1日 矢部川堤防、筑後広域公園などでの野鳥観察 石橋(信)**

清水山でのタカ渡り観察の後、矢部川堤防、立花いこいの森（柳川市）、筑後広域公園と回りました。

矢部川堤防（筑後広域公園南側）、筑後支部区域で初認のコガモ 15 羽、ヒドリガモ 4 羽、ミサゴの水浴びなどが見られました。

立花憩いの森では、キセキレイ、キジバト、小鳥が木の茂みに居るが確認出来ませんでした、又、公園の樹木の消毒が行われていました。

筑後広域公園では、鳥の姿はなく帰り間際にサッカーグラウンド横で、コサメビタキを確認でした。



▲コガモ・船小屋矢部川 撮影：石橋(信)



▲ヒドリガモ・船小屋矢部川 撮影：石橋(信)



▲コサメビタキ・筑後広域公園 撮影：石橋(信)

***10月4日 筑後市のコムクドリ 石橋(信)**

夜買い物に行きました、スーパーの駐車場に車を止めてドアを開けたら、鳥の鳴き声。

鳴き声の方向に近づくコムクドリでした、今年の塒でした。

スズメ、ムクドリ、コムクドリの昆群、見たのが10/4日23時近くでした。街灯の明かりの撮影ですが確認出来ました。



▲コムクドリ・筑後市 撮影：石橋(信)



▲コムクドリ・筑後市 撮影：石橋(信)



▲コムクドリ・筑後市 撮影：石橋(信)

*10月9日 清水山でのタカ渡り観察 江口浩喜

今日、清水山大観峰でタカの渡りの観察を行いましたので報告します。

観察時間：7:25～11:00 快晴、無風

9:24 ハチクマ 1羽 南から北へ

9:27 サシバ 1羽 北から南へ

9:38 サシバ 1羽 北から南へ

9:49 サシバ 1羽 北から南へ

同日、半高山（熊本県玉名郡玉東町原倉）では、サシバ 147羽、ハチクマ 2羽が確認されており清水山→半高山以外のサシバのルートの可能性が考えられるのでは？

その他の野鳥

7:44 コシアカツバメ 3羽

7:54 アマツバメ 17羽 上空を旋回しながら高度を上げ南に飛び去った。

アオゲラ、モズ、ハシボソガラス、ヤマガラ、シジュウカラ、ヒヨドリ、コサメビタキ、カワラヒワ、ソウシチョウ

*10月10日 筑後広域公園の野鳥 江口浩喜

来週 10月 17日の探鳥会の下見を兼ねて筑後広域公園に行ってきました。

キィキィキィキィと聞きなれない鳥の鳴き声がしたので声のする方に行ってみると、桜の木にアリスイが止まっていました。早くも冬鳥のアリスイが渡ってきたようです。

以下、その他観察した鳥です。

カルガモ、キジバト、アオサギ、ダイサギ、コサギ、カワセミ、コゲラ、モズ、カササギ、ハシボソガラス、ヤマガラ、シジュウカラ、ツバメ、ヒヨドリ、エナガ、ムクドリ、コサメビタキ、スズメ、キセキレイ、ハクセキレイ、セグロセキレイ、カワラヒワ、ホオジロ



▲アリスイ・筑後広域公園 撮影：江口浩喜

＜近隣エリア＞

* 9月19日 山神ダム（筑紫野市）の野鳥 野田(美)

ヒタキ類を探しに山神ダムに行きました。

ヒタキ類は梢の先あたりをチョロチョロしてなかなかゆっくり観察できませんが、フレンドリーなエゾビタキが3m位まで近づいてきて、しばらく愛想を振りまいてくれました。

7時半ごろから上空にハチクマが現れ、複数羽で旋回する、(ミニ)タカ柱がみられました。5 + 6 + 1羽で計12羽確認しましたが、林を歩きながらの観察でしたので、もっと多くの数が通過していったかもしれません。猛禽の渡りのシーズンも始まっていますので、近くの見晴らしのいい山頂から観察するのもいいですね。



▲エゾビタキ・山神ダム 撮影：野田(美)



▲ハチクマ・山神ダム 撮影：野田(美)